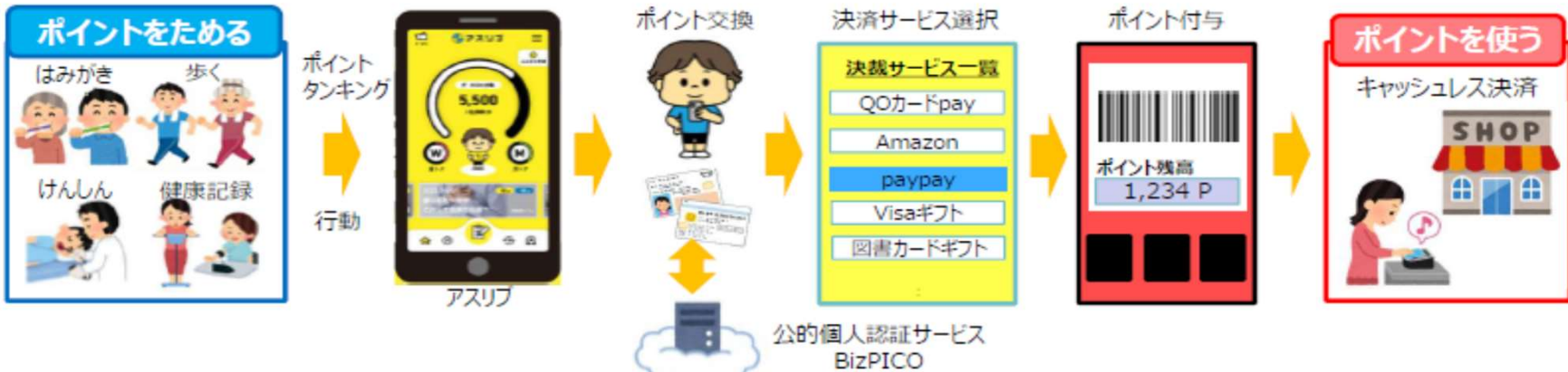


デジタル田園都市国家構想交付金活用事業について(報告)

(1)ポイントプラットフォーム導入による市民活動促進事業

<事業概要>

■ サービス内容

サービス名	アスリブクラウド・マイナンバーカード活用した汎用ポイントプラットフォーム	事業費	59,860千円
ターゲット	18歳以上の蒲郡市民		
展開エリア	愛知県蒲郡市		
サービス内容（事業分野：⑫その他）			
市民のソーシャルグッドな行動に付加価値を与えることで行動変容を促進する。また、貯まったポイントのキャッシュレスサービスへの変換を可能とし、地域のキャッシュレス化を実現する。また、個人の特定にマイナンバーカードの公的個人認証サービスを活用することで、マイナンバーカードの利活用の促進を図る。			
【サービスの具体的な内容】			
①ポイントアプリにより地域住民のソーシャルグッドな行動に対しポイントを付与し、市民行動変容を促す			
②マイナンバーカードの公的個人認証サービスを活用し本人確認を実施			
③貯まったポイントをキャッシュレス決済サービス（全国Pay）のポイントに変換			
④対象店舗でキャッシュレス決済サービスを利用			
			

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業について(報告)

(1)ポイントプラットフォーム導入による市民活動促進事業

- R5.10.2～事業開始
- ポイント付与をきっかけに市民の行動変容促進、キャッシュレス社会実現、マイナンバーカード利活用推進を図る
- R6は健康イベントや環境活動に加えて、赤い電車イベントでもポイント付与予定

<R5実績> (R6.3.31現在)

登録者数 3,576人

ポイント交換 1,210,500ポイント(2421件)

(<https://gama-point.jp/>)



今後に向けて

ポイント付与対象イベントを増やして利用者増加を進める

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI

<ポイントプラットフォーム導入による市民活動促進事業>

【アウトプット指標（活動指標）】

KPI①	蒲都市事業参加者数	種別	アウトプット	単位	人
KPIの概要、測定方法	アスリブ内の蒲都市様施策にご参加された人数。アプリストアにて確認し測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	本事業実施の波及効果を直接的に表す指標であり、客観的な評価を行うことが出来るため。また本事業のモデルであり、人口規模が同等の兵庫県三木市の目標・実績値を参考に策定。				
2023年度末 3,500		達成（3,576人）			

KPI②	ポイント付与額	種別	アウトプット	単位	万円
KPIの概要、測定方法	ポイント付与額。提供サービスの管理者画面にて、年度毎のポイント付与累計額を測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	健康イベントや環境活動、ボランティア等に参画すると増加する指標であり、本サービスの目的の一つである地域コミュニティ活性化や地域産業活性化を計測できることが出来るため。				
2023年度末 400		未達成（121万ポイント／見込みよりポイント付与事業への参加が少なかった。2023年度の反省を踏まえ、さらに事業周知に努めるとともに付与対象事業の拡大に取り組んでいく。）			

KPI③	ポイント付与回数	種別	アウトプット	単位	回/年
KPIの概要、測定方法	ポイント付与回数。提供サービスの管理者画面にて、ポイント付与回数を測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	本事業は市民の行動変容を促す取り組みであり、ポイント付与回数の測定は本事業の効果を直接的に表す指標であり、客観的な評価を行うことが出来るため。				
2023年度末 1,000		達成（2,421件）			

【アウトカム指標（成果指標）】

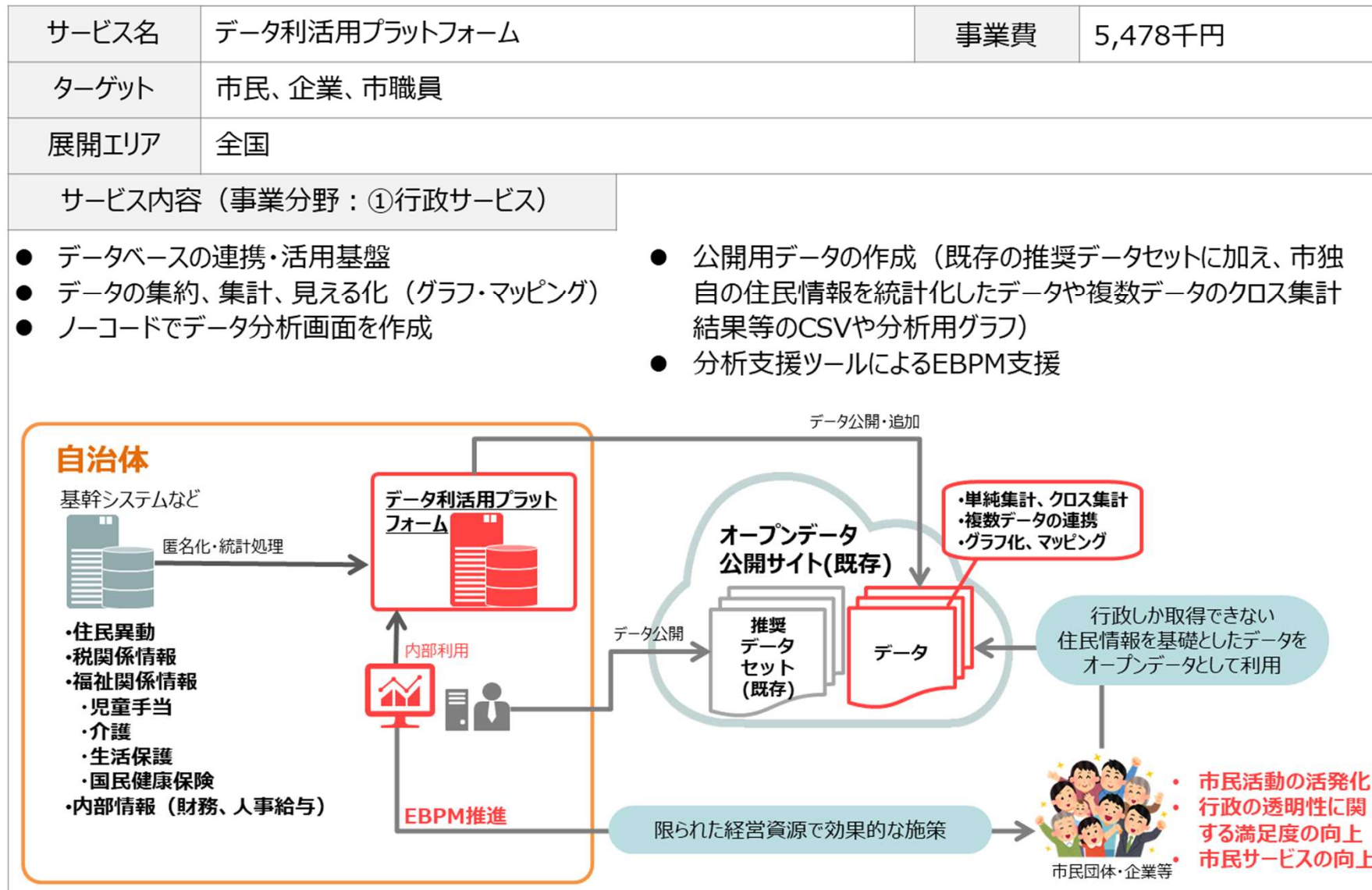
KPI①	本事業による提供サービスの満足度	種別	アウトカム	単位	ポイント
KPIの概要、測定方法	サービス利用者による満足度評価の平均値。（5段階評価） 提供サービスのアンケート機能を活用し、利用者に入力してもらうことで測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	サービス利用者の満足度が高いほど導入効果・波及効果をもたらすことが期待でき、市民の健康活動への意識醸成・マイナンバーカードの普及促進・キャッシュレス化の浸透に寄与すると考えられるため。 また、アンケート画面にて任意で不満な点を記入してもらうことで、サービスの更なる改善を図る。				
2023年度末 2.5		達成（3.4）			

KPI②	マイナンバーカード利活用事業の創出	種別	アウトカム	単位	件/年
KPIの概要、測定方法	アプリ内においてマイナンバーカードを活用した事業やサービスの創出。アプリ内にてマイナンバーカードを活用した新事業やサービスの提供数を測定。				
事業成果等の計測に適する理由	市民・事業者・行政が一体となったまちづくりの推進にあたり、アプリのアンケート機能を用いて市民の意見を反映し、利便性向上に向けた事業やサービスを継続提供していくことが本事業の目的であると考えられるため。				
2023年度末 1		達成（マイナンバーカードを活用した本人認証）			

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業について(報告)

(2) データを活用したスマートまちづくり

<事業概要>



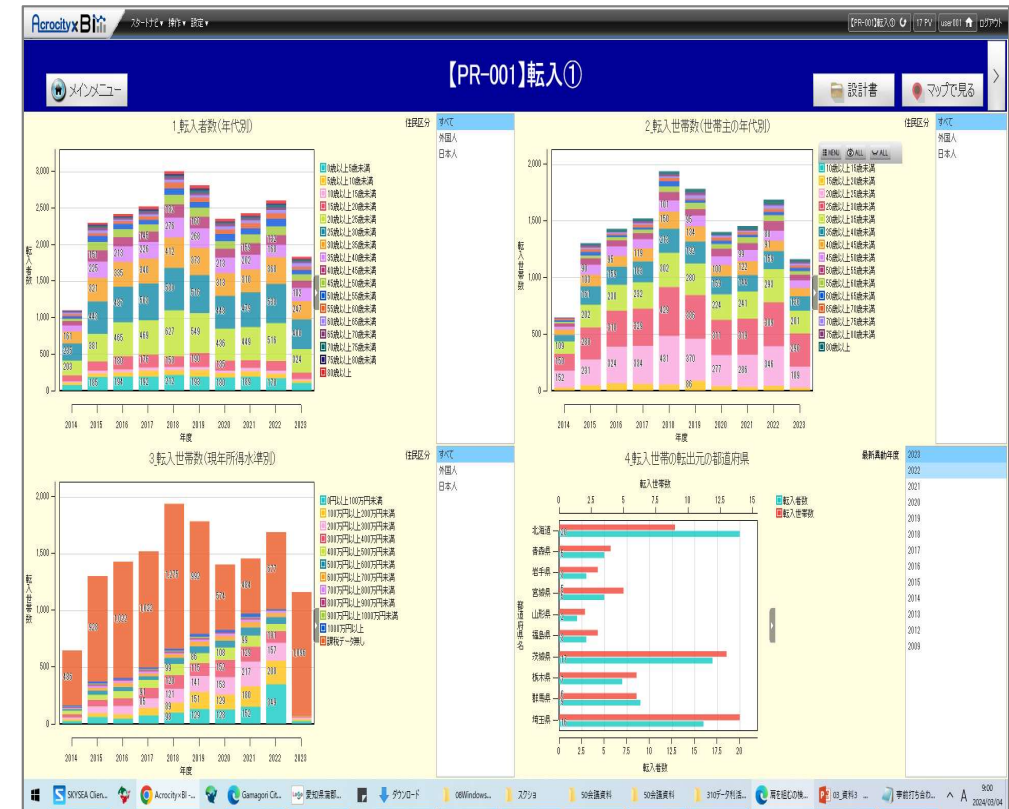
デジタル田園都市国家構想交付金活用事業について(報告)

(2) データを活用したスマートまちづくり

- 市が持つ住民情報を統計化し、データ分析に活用するためのツールを導入
- 公開に支障がない統計データはオープンデータとして公開
- 行政の透明性を確保するとともにまちづくりの担い手増加を目指す。また、EBPM(データ活用による政策立案)の推進により公正公平かつ効果的な政策立案を行い住民サービスを向上させる。

<R5実績>

データ公開・ツールを用いた政策立案の実績なし
EBPM研修1回、BIツール操作研修1回実施



▲ツールの分析画面イメージ

今後に向けて

搭載データの充実・公開データの拡大・公開データの活用を推進

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI

<データを活用したスマートまちづくり>

【アウトプット指標（活動指標）】

KPI①	サイトへの公開データセット数	種別	アウトプット	単位	データセット数
KPIの概要、測定方法	オープンデータのデータセット数(管理画面から集計し、2023年1月現在公開済みのデータセット数を除く。)				
事業成果等の計測に適する理由	プラットフォーム構築後のデータセット数が本事業による成果であるため。				
2023年度末					
20		未達成（構築期間が長引き、年度内にデータセットの公開に至らなかった）			

KPI②	公開データのダウンロード数（平均）	種別	アウトプット	単位	ダウンロード数/データセット
KPIの概要、測定方法	オープンデータのダウンロード数（平均） 2023年1月現在公開済みのデータセットを除いて集計し、平均値を測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	プラットフォーム構築後のデータセット数が本事業による成果であるため。				
2023年度末					
40		未達成（構築期間が長引き、年度内にデータセットの公開に至らなかった）			

【アウトカム指標（成果指標）】

KPI①	オープンデータを用いた連携事業数	種別	アウトカム	単位	事業数/年
KPIの概要、測定方法	新たに公開したオープンデータを用いて民間（地域団体・市民団体・民間企業等）により実施された事業の数サイト上で利用者からの報告を求める。				
事業成果等の計測に適する理由	オープンデータの活用により地域課題の解決につながった数と捉えることができるため。				
2023年度末					
1		未達成（構築期間が長引き、年度内にデータセットの公開に至らなかった）			

KPI②	BIツールを用いた政策立案数	種別	アウトカム	単位	政策数/年
KPIの概要、測定方法	市の政策に関する意思決定を行う会議にかけられた案件のうち、BIツールを用いて立案された政策の数(庁内への照会により計測する)				
事業成果等の計測に適する理由	客観的なエビデンスに基づく政策立案組織文化の醸成度を測ることができるため。				
2023年度末					
1		未達成（構築期間が長引き、年度内にBIツールを用いた政策立案に至らなかった）			

KPI③	市政の情報提供に対する市民の満足度	種別	アウトカム	単位	%
KPIの概要、測定方法	「市政の情報提供や市民の声の広聴」に「満足」または「やや満足」と回答した方の割合 市民意識調査（隔年実施）により測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	本事業により市政の情報提供が進むことによる地域住民の満足度を図ることができるため。				
2023年度末					
16%		達成（16.02%）			

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業について(報告)

(3)行政手続オンライン化の推進による住民サービスの向上

<事業概要>

事業概要	オンライン申請ツールの機能拡張を行い、マイナンバーカードを用いた本人確認（電子認証）や申請者と自治体双方向のコミュニケーションを実現し、デジタルで完結する行政手を拡充し住民サービスの一層の向上を図る。	
具体サービス	【LoGoフォーム】（株式会社トラストバンク） ○ノーコードで自治体職員自らが簡単に申請フォームを作成できる電子申請システム ○申込予約、アンケートなどのフォームを作成・集計し、一元管理できる自治体専用の「ノーコード電子申請システム」 ○当市では令和4年度から導入済みであり、活用を進めている。 【機能拡張部分】 ○マイナンバーカードを活用した公的個人認証機能 ○申請者と自治体双方向のコミュニケーションを実現する「デジタル窓口」 ○ぴったりサービスとの連携機能	The diagram illustrates the LoGo Form system architecture. It shows a central 'LoGoフォーム' box connected to 'インターネット環境' (Internet Environment) on both sides. The central box contains 'LGWAN-ASPサービス提供' (LGWAN-ASP Service Provision) and '利用者が電子申請サービス' (Users use electronic application services). Below this, it shows 'デジタル窓口' (Digital Window) and 'DRサーバ' (DR Server). The system is connected to '自治体の管理環境' (Municipal Management Environment) via 'LGWAN'. The management environment includes 'インターネット環境' (Internet Environment) and 'LoGoフォーム' (LoGo Form). The diagram also shows '本人認証アプリ' (Personal Authentication App) and '電子証明書の発行' (Issuance of Electronic Certificate) components, which are connected to the 'デジタル窓口' and 'DRサーバ'.
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① 拡張機能を利用した手続数 ② ①該当手続における回答数	【アウトカム指標（成果指標）】 ① 閉庁時間内での申請件数 ② 申請者が削減できた時間

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業について(報告)

(3)行政手続オンライン化の推進による住民サービスの向上

- R4.4.1～ LoGoフォーム利用開始
- R5.6.1～ デジ田利用分のオプションの利用開始
 - ・ 電子認証(マイナサイン)xIDから切替
 - ・ ぴったりサービス連携
 - ・ デジタル窓口
- R7よりe-TUMO(あいち電子申請システム)の利用を終了するため、R6はLoGoフォームへの切替等を支援する

<R5実績> (R6.3.31現在)

総回答数 80,021人

2023年度に新たに公開した手続数 887件

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI

【アウトプット指標（活動指標）】

<行政手続オンライン化の推進による住民サービスの向上>

KPI①	拡張機能を利用した手続数	種別	アウトプット	単位	手続数/年
KPIの概要、測定方法	本事業で拡張した機能を活用した手続の件数。管理画面にて集計する。				
事業成果等の計測に適する理由	本事業により展開された住民、事業者へのサービス数と一致するため				
2023年度末	達成（びったりサービス連携：1, マイナンバーカードを活用した公的個人認証機能：2, デジタル窓口（文書送付）：6, デジタル窓口（汎用メール）：5, デジタル窓口（補正依頼・利用者登録）：多数）				
15					

KPI②	拡張機能を利用した手続における回答数	種別	アウトプット	単位	アクセス/月
KPIの概要、測定方法	本事業で拡張した機能を活用した手続への回答数。管理画面にて集計する。				
事業成果等の計測に適する理由	本事業により展開されたサービスの利用者数と一致するため				
2023年度末	達成（1291件以上※ただし総数は不明）				
450	びったりサービス連携：379, マイナンバーカードを活用した公的個人認証機能：50, デジタル窓口（文書・メール送付）：862, デジタル窓口（補正依頼・利用者登録）：多数				

【アウトカム指標（成果指標）】

KPI①	申請者が削減できた時間	種別	アウトカム	単位	時間/年
KPIの概要、測定方法	オンライン申請したことによって申請者が削減できた時間 申請件数1件につき手続所要時間(30分) + 移動時間(30分)を乗じて算出する。				
事業成果等の計測に適する理由	オンライン化により来庁することが不要になったことの効果を客観的な数値で計測できるため。				
2023年度末	達成（80021時間）2023年度の総回答数80021件×1時間				
450時間					

KPI②	マイナンバーカードを持つメリットがないと回答した人の割合	種別	アウトカム	単位	%
KPIの概要、測定方法	マイナンバーカードを作らない理由として「持つメリットがない」と回答した人の割合。市民意識調査（隔年実施）により測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	マイナンバーカードを当面は手続オンライン化で活用していく方針のため、事業の効果を図りやすいため。				
2023年度末	達成（24.55%）				
24.5%					